

最近の経済動向

平成30年5月号

北海道の景気動向(平成30年3月の経済指標を中心として)

持ち直している

■ 鉱工業生産動向

- P 1 生産活動(鉱工業生産指数)
一部に弱さがあるが、持ち直しの動きがみられる

■ 需要動向(消費・投資)

- P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、
専門量販店販売額、新車登録台数)

回復しつつある

- P 3 住宅建設(新設住宅着工戸数)
減少基調の中、一服感がみられる

- P 4 公共工事(公共工事請負金額)
増加している

- P 4 観光(来道者数)
改善が進んでいる

- P 5 輸出入(輸出入額)
輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

■ 企業倒産

- P 6 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも減少した

■ 雇用動向

- P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善が進む中、人手不足感がみられる

- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■ 物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■ 企業の業況感

- P 8 企業経営者意識調査
前期から下降している

■ 企業情報

- P 9 企業のみなさまから伺いました

■ 地域の経済動向

- P 11 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■ 景気動向指数

- P 17 北海道の景気動向指数

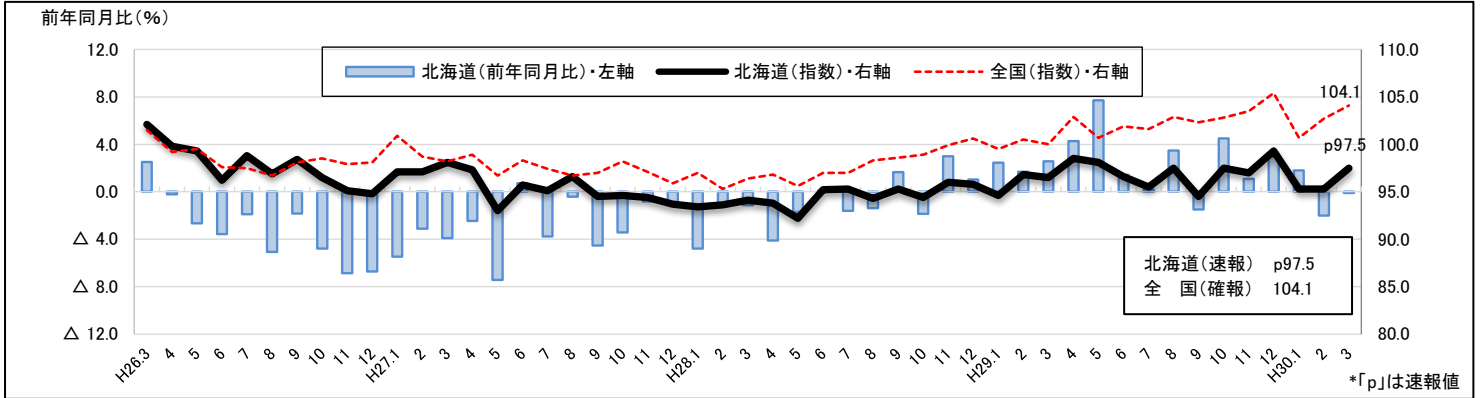
■生産活動～一部に弱さがあるが、持ち直しの動きがみられる

鉱工業生産指数（3月）

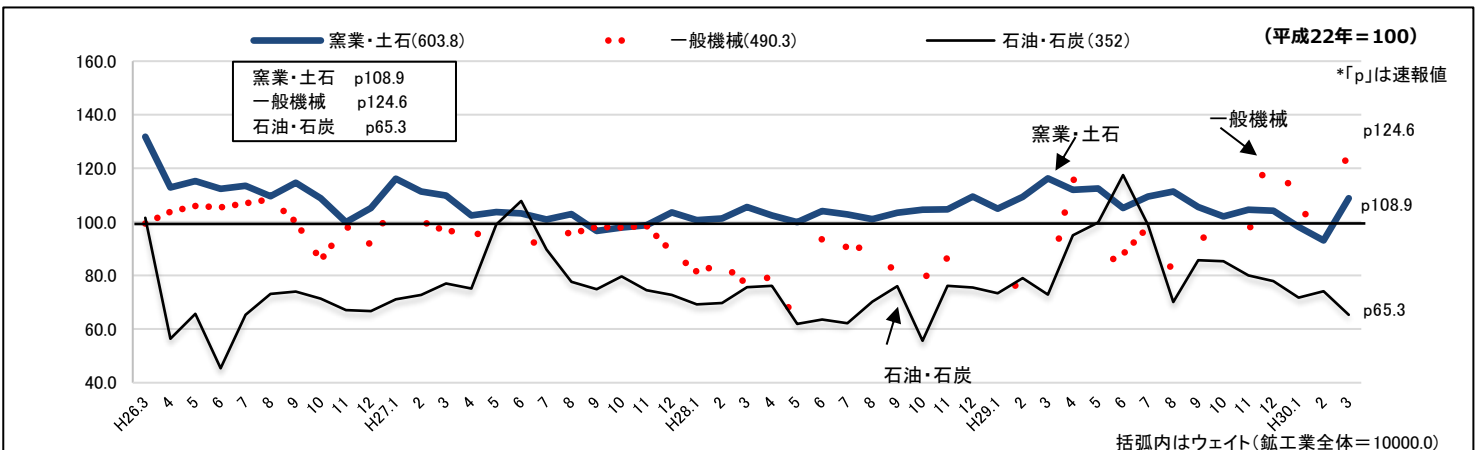
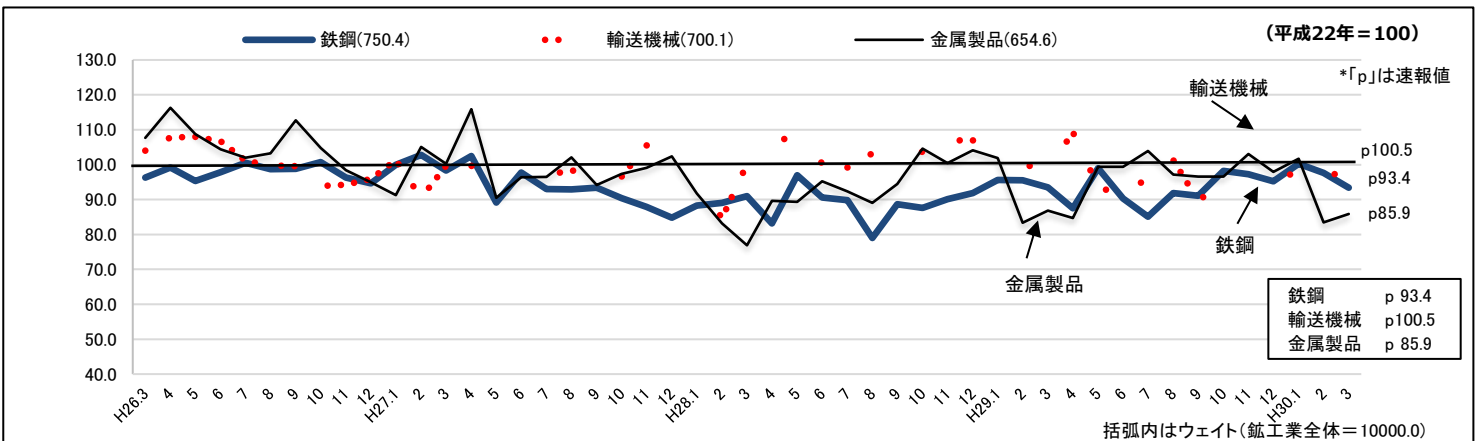
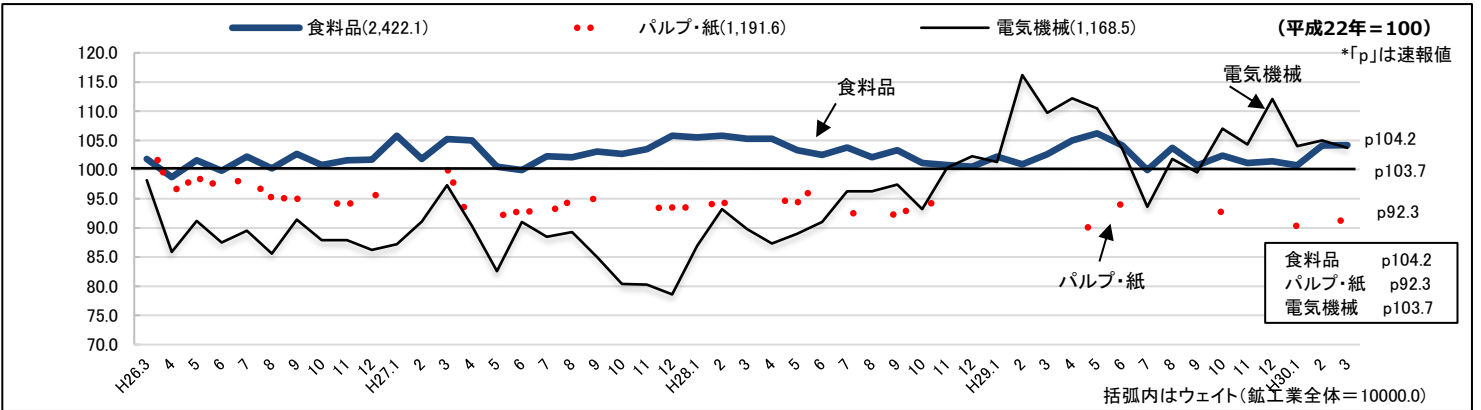
鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.5で前月比+2.3%(3ヶ月ぶりの上昇)であり、前年同月比は、▲0.1%(2月連続の低下)となった。業種別にみると、窯業・土石製品工業等12業種が前月上昇、鉄鋼業等の4業種が前月比低下となった。

鉱工業生産指数(季節調整済指数)

(平成22年=100)



主な業種の生産指数(季節調整済指数)



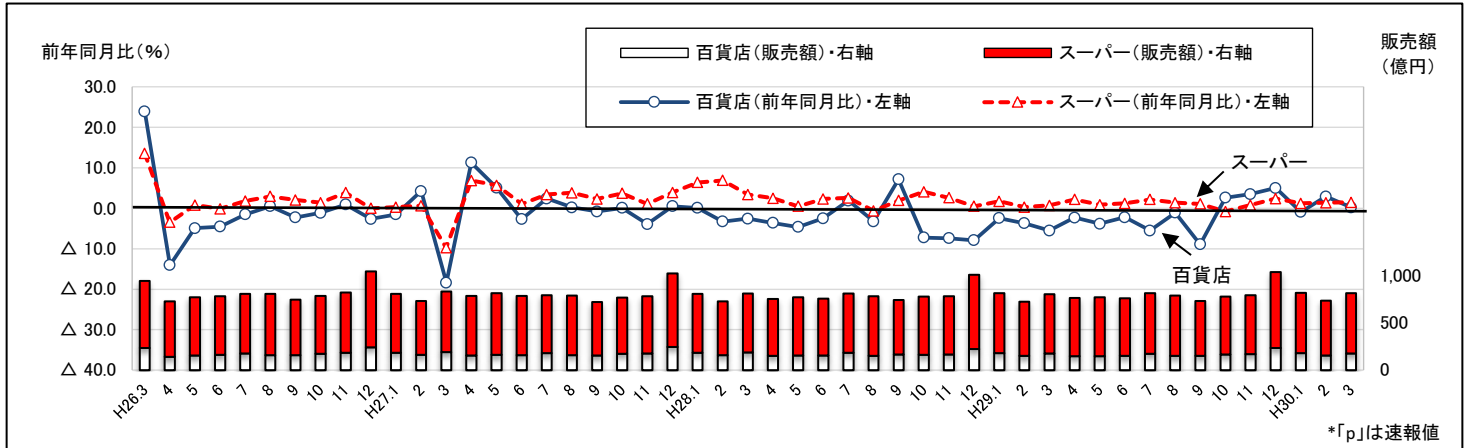
(資料：北海道経済産業局)

■個人消費～回復しつつある

百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

- ・百貨店の販売額は、177億円で前年同月比0.2%の増加となり、2ヶ月連続で前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品、飲食料品は前年を下回ったものの、その他は前年を上回った。
- ・スーパーの販売額は、637億円で同1.5%の増加となり、5ヶ月連続で前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品、その他は前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

百貨店・スーパー販売額と前年同月比【全店ベース】

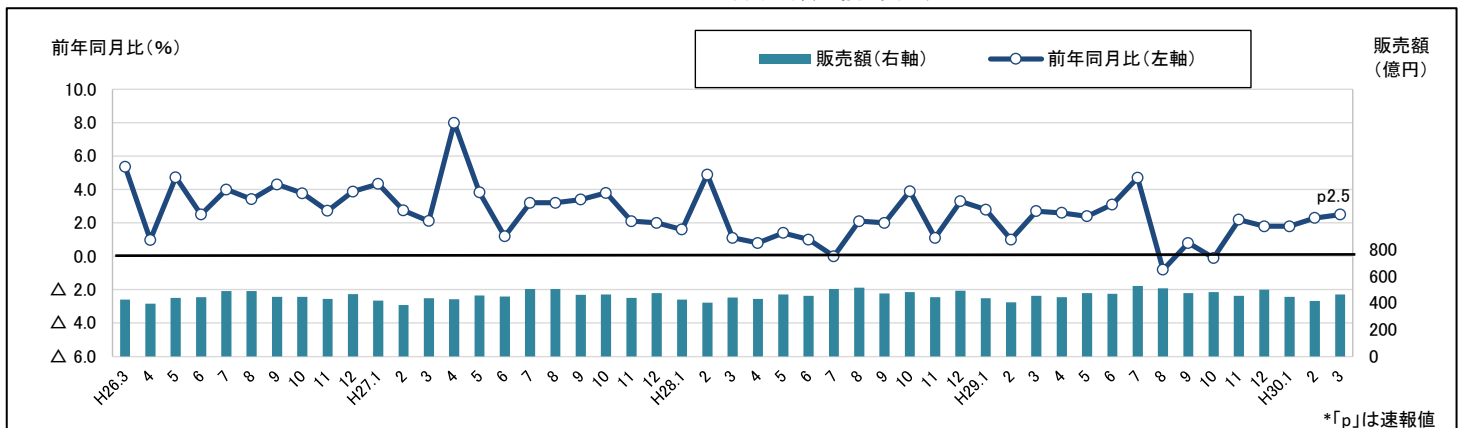


(資料：北海道経済産業局)

コンビニエンスストア販売額(全店)(3月)

- ・コンビニエンスストア販売額は、464億円で前年同月比2.5%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額と前年同月比

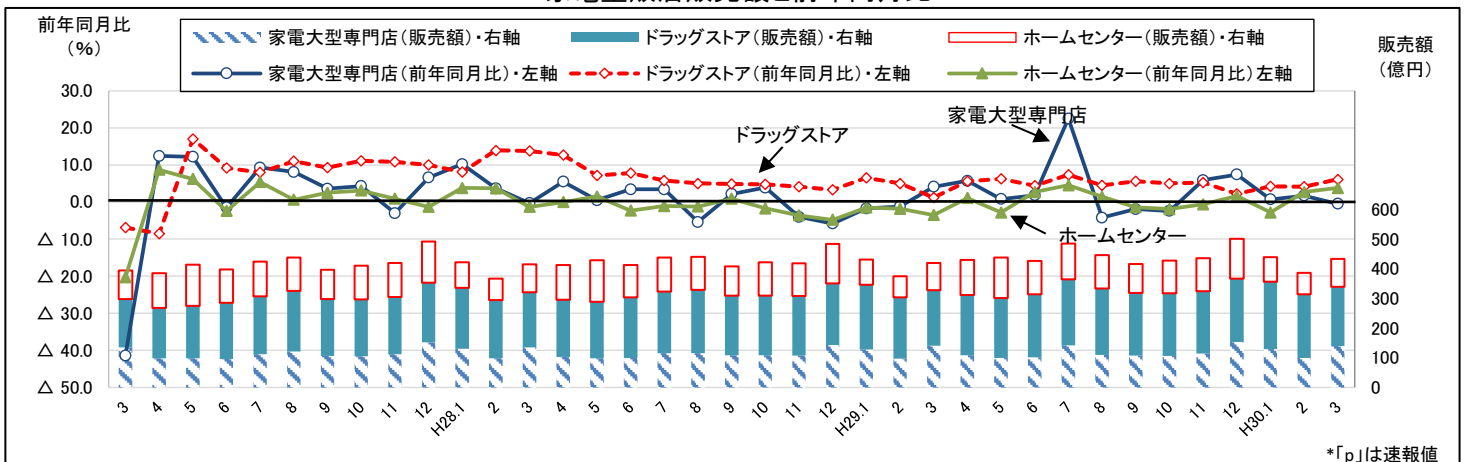


(資料：北海道経済産業局)

専門量販店販売額(3月)

- ・ドラッグストア販売額は、199億円で前年同月比6.1%の増加となり、35か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンター販売額は、95億円で同3.8%の増加となり、2ヶ月連続で前年を上回った。
- ・家電大型専門店販売額は、140億円で同0.5%の減少となり、5ヶ月ぶりに前年を下回った。

家電量販店販売額と前年同月比

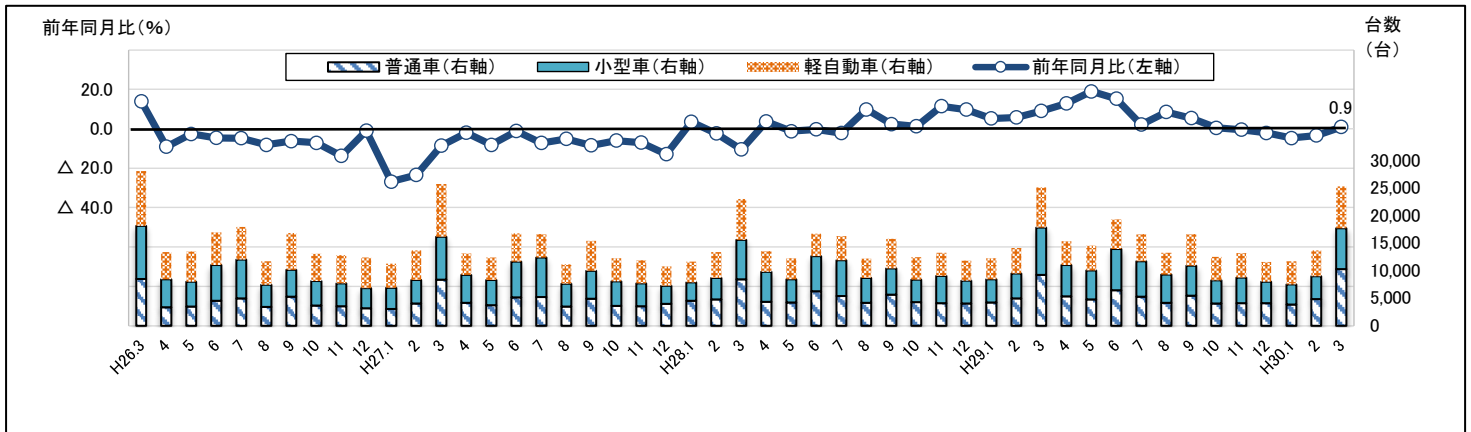


(資料：北海道経済産業局)

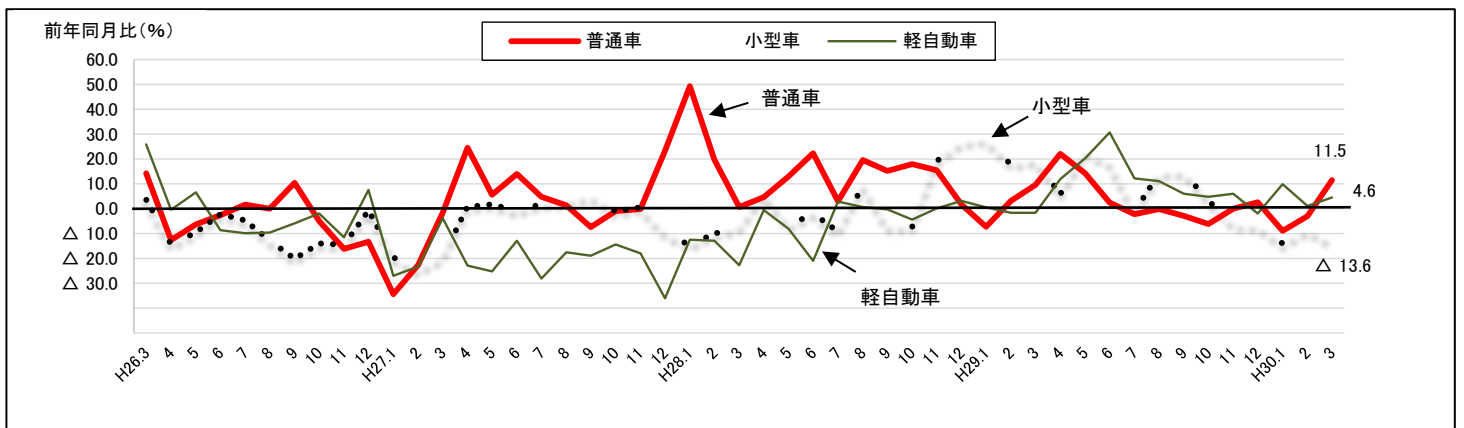
新車登録台数（3月）

新車登録台数は、25,284台で前年同月比0.9%の増加となり、5か月ぶりに前年を上回った。
 車種別にみると、普通車は、10,261台で同11.5%の増加、小型車は、7,403台で同13.6%の減少、軽自動車は、7,620台で同4.6%の増加となった。

新車販売台数と前年同月比



車種別販売台数の前年同月比



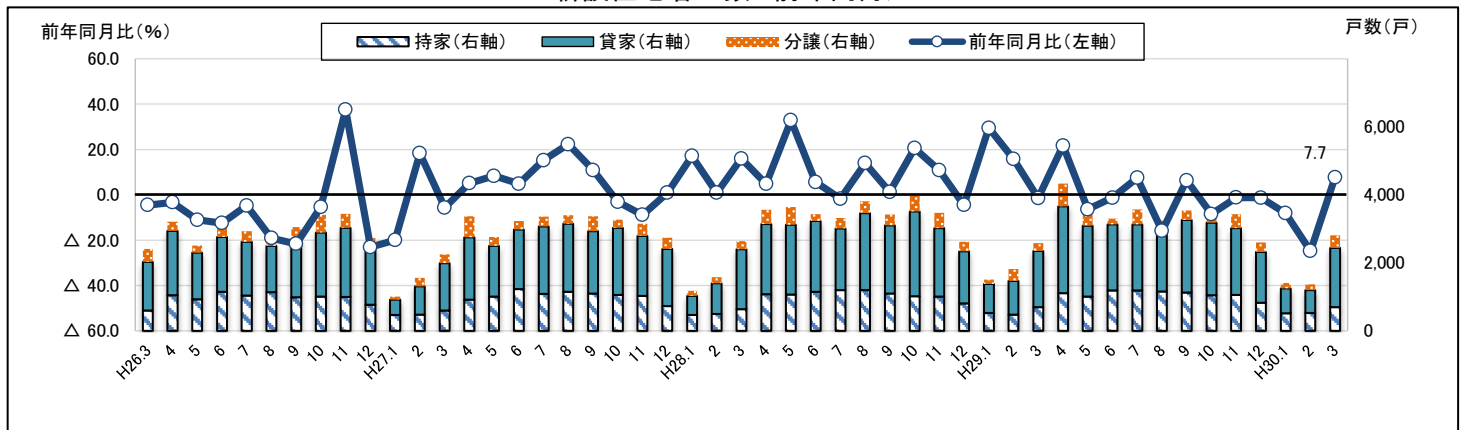
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

住宅建設～減少基調の中、一服感がみられる

新設住宅着工戸数（3月）

住宅着工戸数は、2,813戸で前年同月比7.7%の増加となり、6か月ぶりに前年を上回った。
 利用関係別にみると、貸家は、1,736戸で同4.9%の増加、持家は、700戸で同0.3%の増加、分譲住宅は、372戸で同61.0%の増加となった。

新設住宅着工数と前年同月比



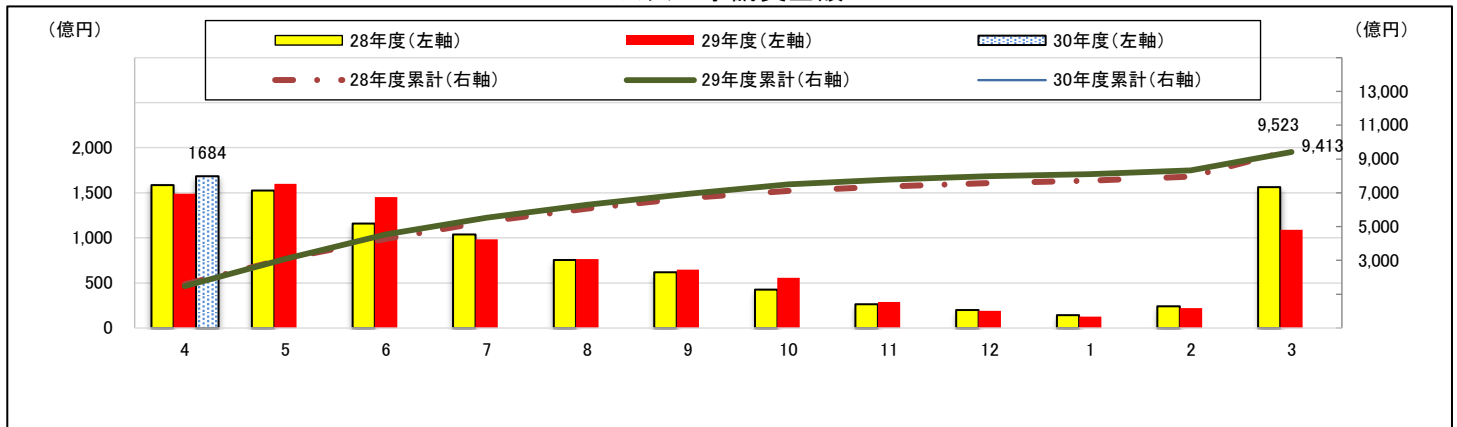
(資料：国土交通省住宅局)

■公共工事～増加している

公共工事請負金額（4月）

請負金額は、1,684億円で前年同月比13.2%の増加となり、5か月ぶりに前年を上回った。工事目的別にみると、産業基盤が785億円(全体の46.6%)、生活基盤が439億円(同26.1%)、治山・治水が239億円(同14.2%)、農林・水産が178億円(同10.6%)、その他が41億円(同2.5%)となっている。

公共工事請負金額



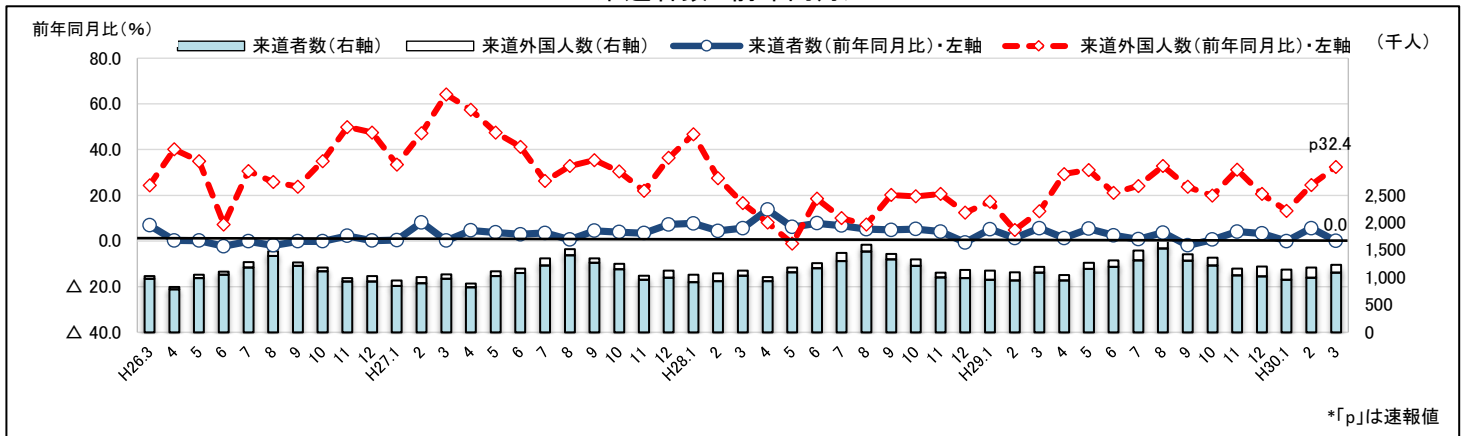
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

■観 光～改善が進んでいる

来道者数（3月）

来道者数は、109万人で前年同月比0.0%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。本道に直接入国した外国人は、14万3千人で同32.4%の増加となり、22か月連続で前年を上回った。

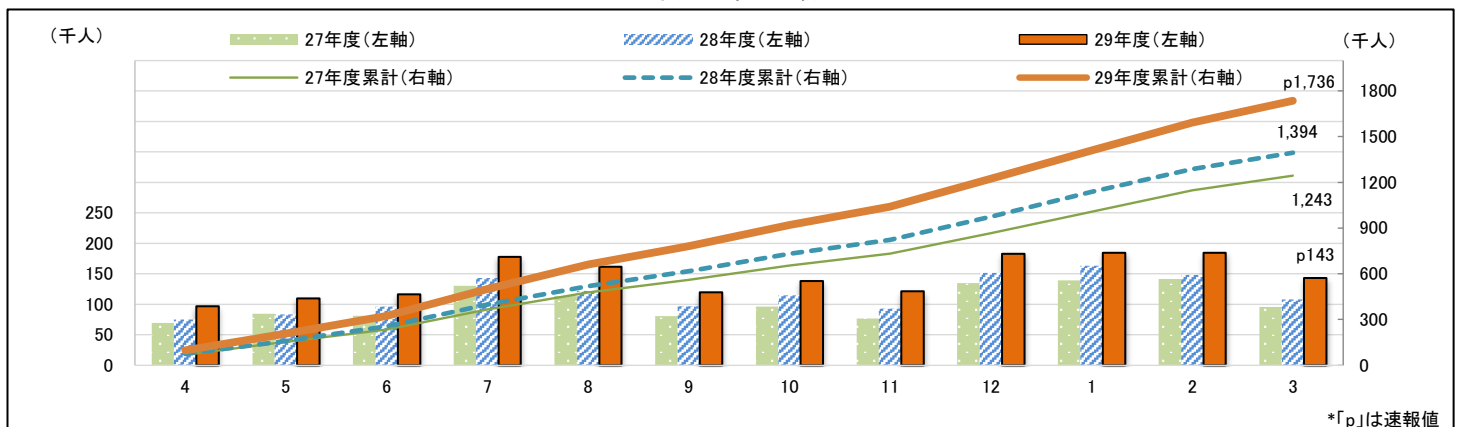
来道者数と前年同月比



*「p」は速報値

(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

来道外国人数



*「p」は速報値

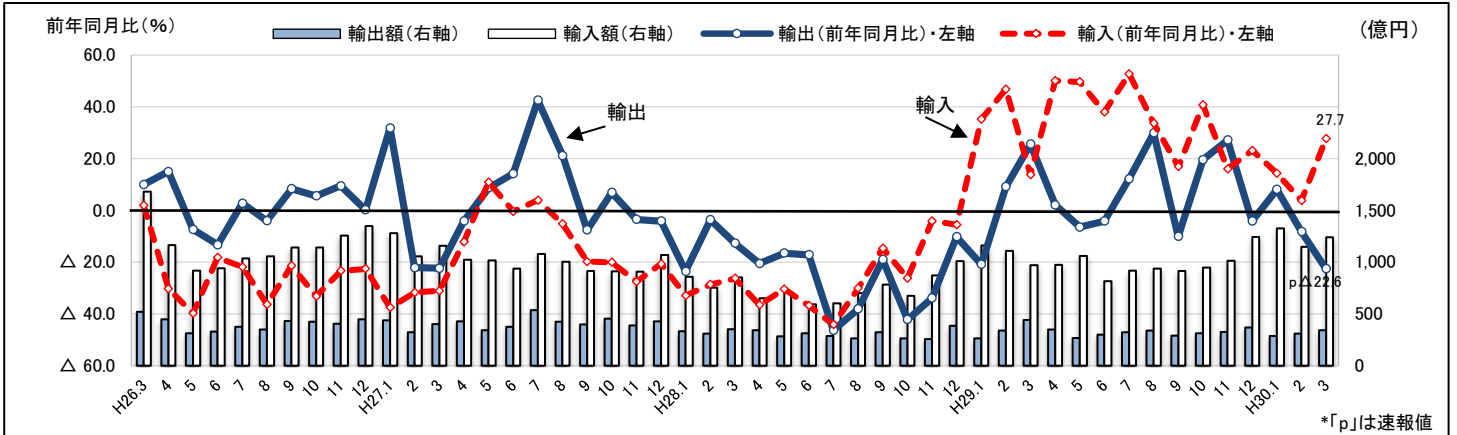
(資料：法務省入国管理局)

■輸出入～輸出額は前年を下回り、輸入額は前年を上回った

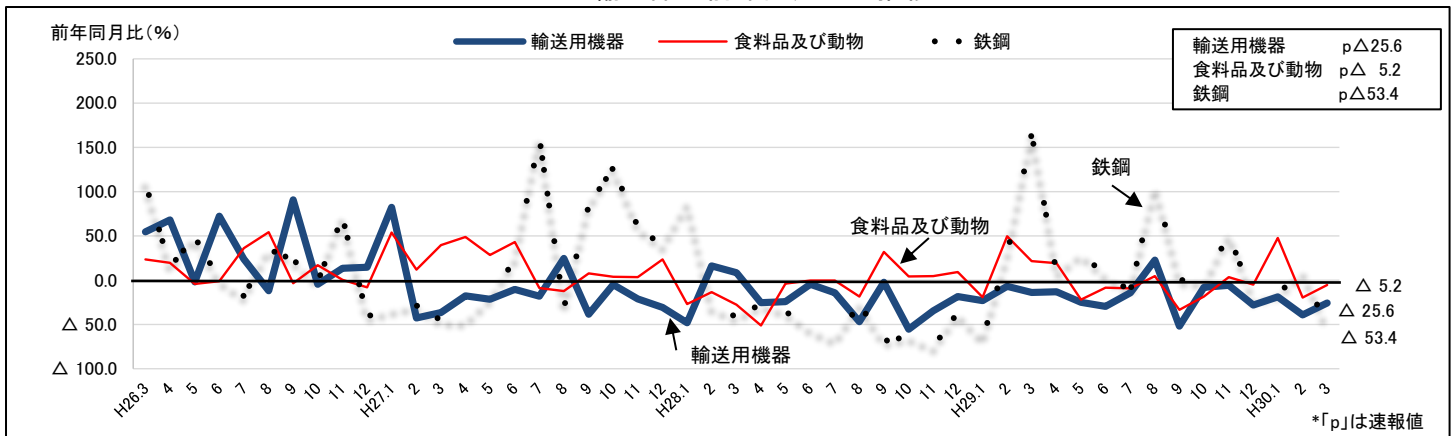
輸出入額（3月）

・輸出額は、342億円で前年同月比22.6%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。
 品目別にみると、鉄鋼くず、紙・板紙などが増加したものの、鉄鋼、石油製品、有機化合物などが減少となった。
 ・輸入額は、1,239億円で同27.7%の増加となり、15か月連続で前年を上回った。
 品目別にみると、石炭、魚介類・同調製品などが減少したものの、原油・粗油、石油製品、石油ガス類などが増加となった。

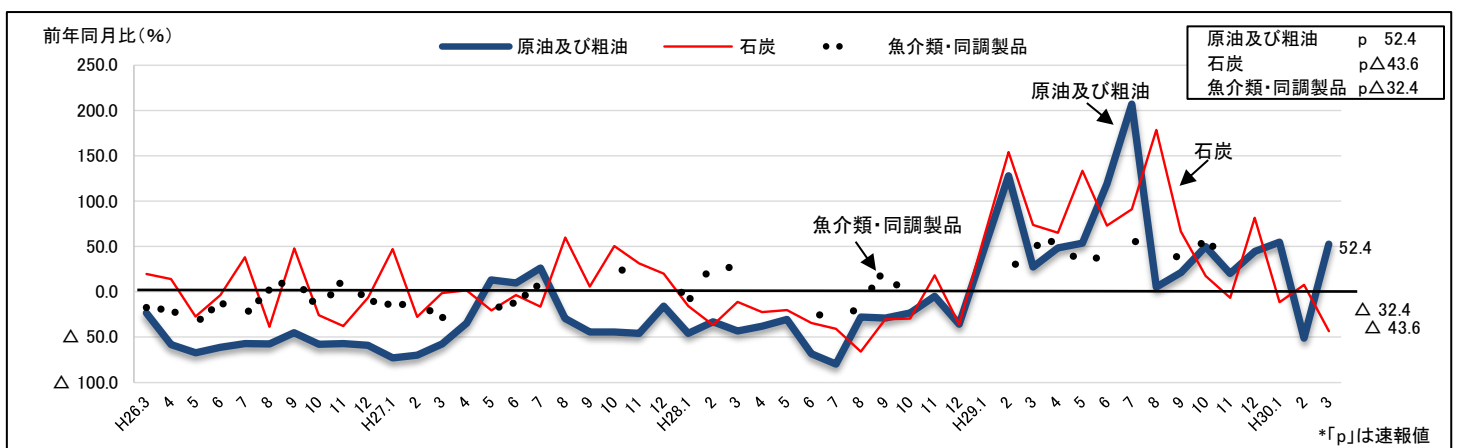
輸出入額と前年同月比



主な輸出品の前年同月比の推移



主な輸入品の前年同月比の推移



(資料：函館税関)

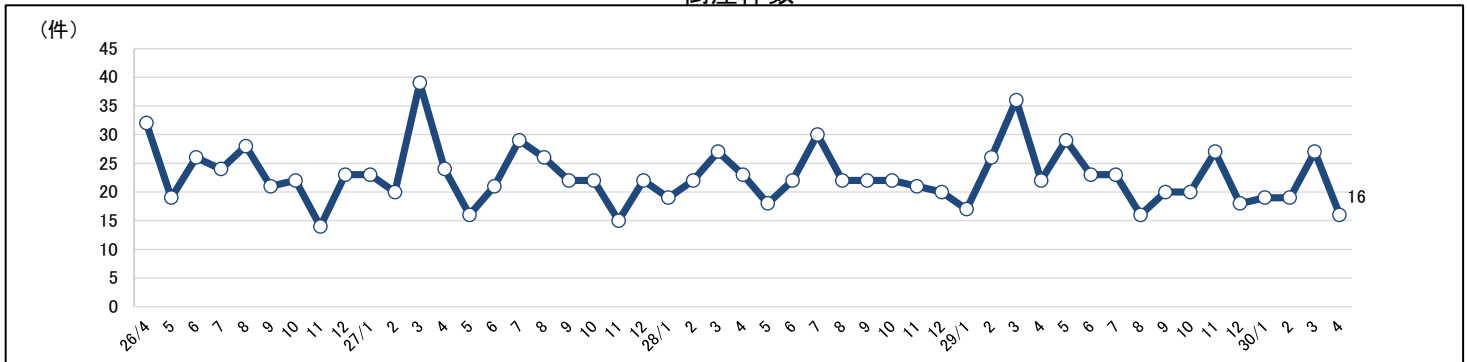
■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

企業倒産（4月）

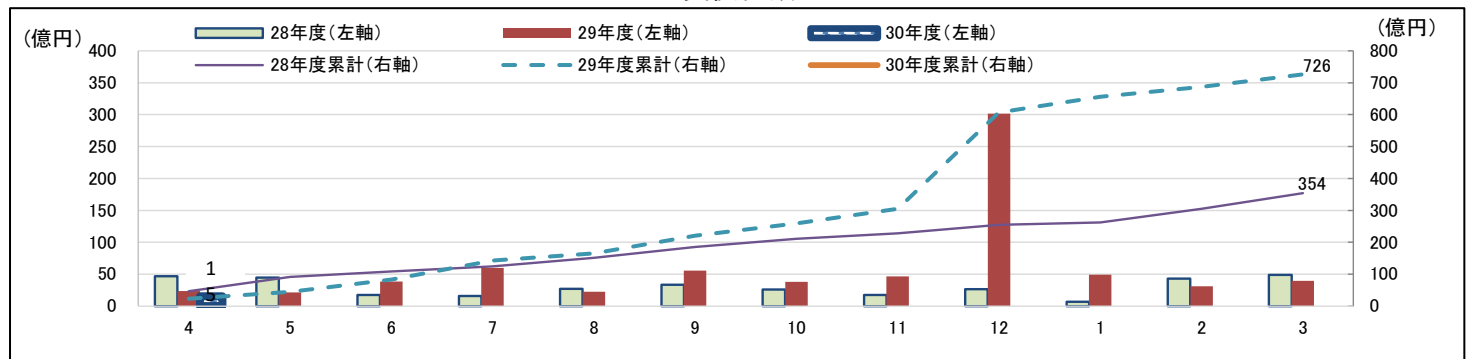
企業倒産件数は、16件で前年同月比27.3%の減少となり、3か月連続で前年を下回り、負債総額は、15億円で同34.8%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。

原因別で見ると、販売不振が14件（87.5%）と大部分を占め、業種別では、建設業、卸売業が各5件（31.3%）で最多となり、製造業、サービス・他が各3件（各18.8%）と続いた。

倒産件数



負債総額



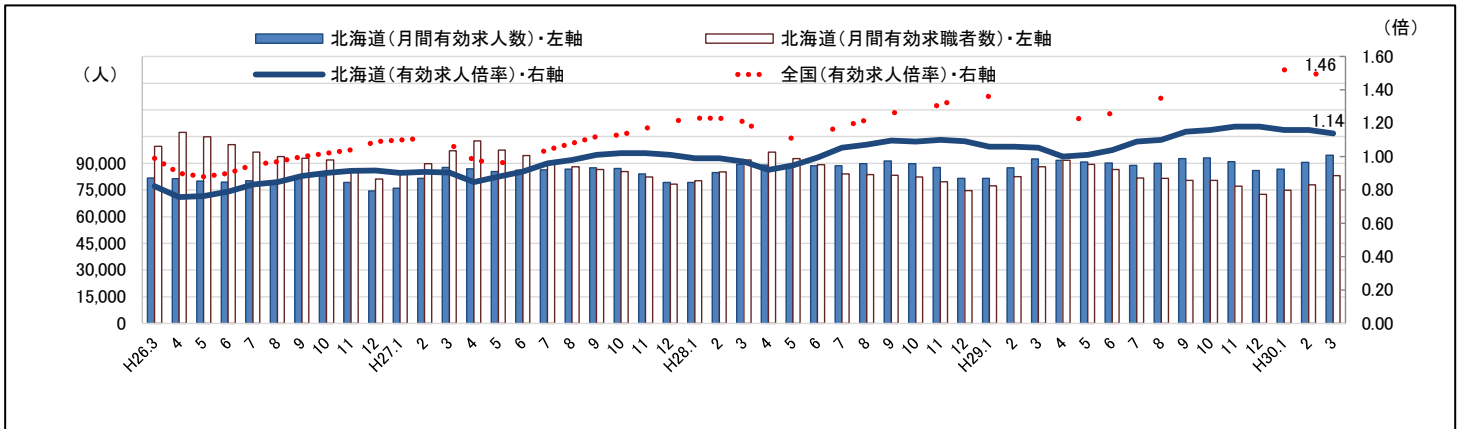
(資料：(株)東京商工リサーチ)

■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（3月）

月間有効求人数は、9万4,543人で前年同月比2.4%の増加となり、98か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万2,970人で同5.8%の減少となり、77か月連続で前年を下回った。
 有効求人倍率は、1.14倍で前年同月差で0.09ポイントの増加となり、98か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)・求人数・求職者



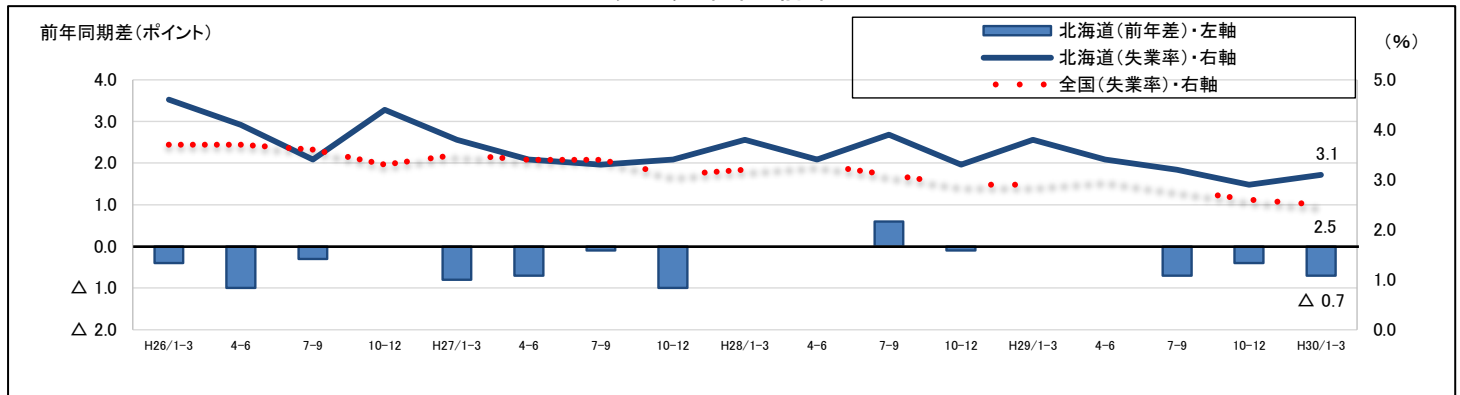
(資料:厚生労働省及び北海道労働局調)

■失 業

完全失業者数、完全失業率(30年1-3月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、2万人減少となっている。
 完全失業率は、3.1%で前年同期と比べ、0.7ポイント低下となっている。

完全失業率と前年差



(資料:厚生労働省及び北海道労働局調)

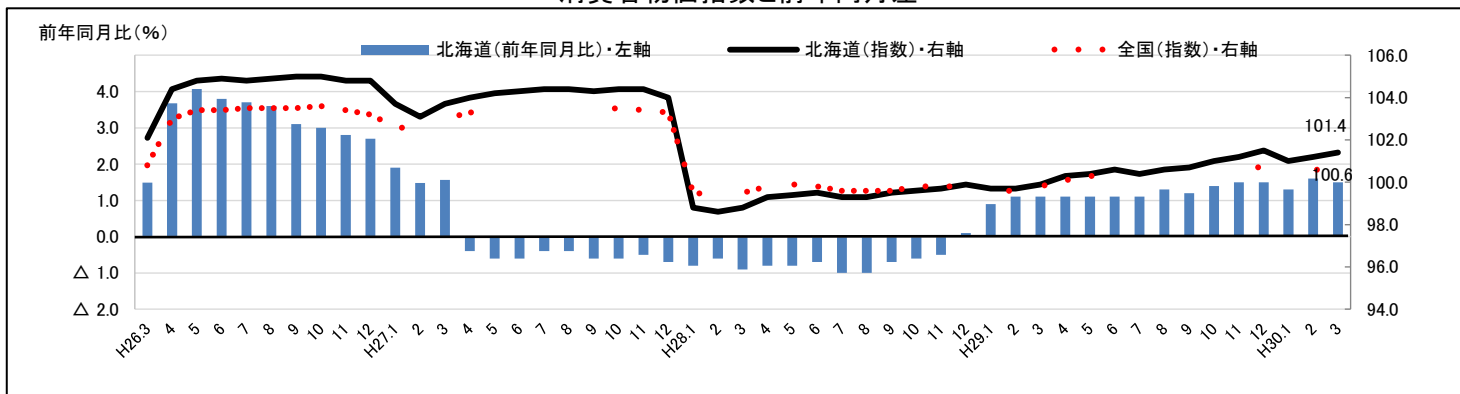
■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

消費者物価指数(生鮮食品除く)(3月)

消費者物価指数は、101.4で前年同月比1.5%の上昇となり、16か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数と前年同月差

(平成27年=100)



(資料:総務省)

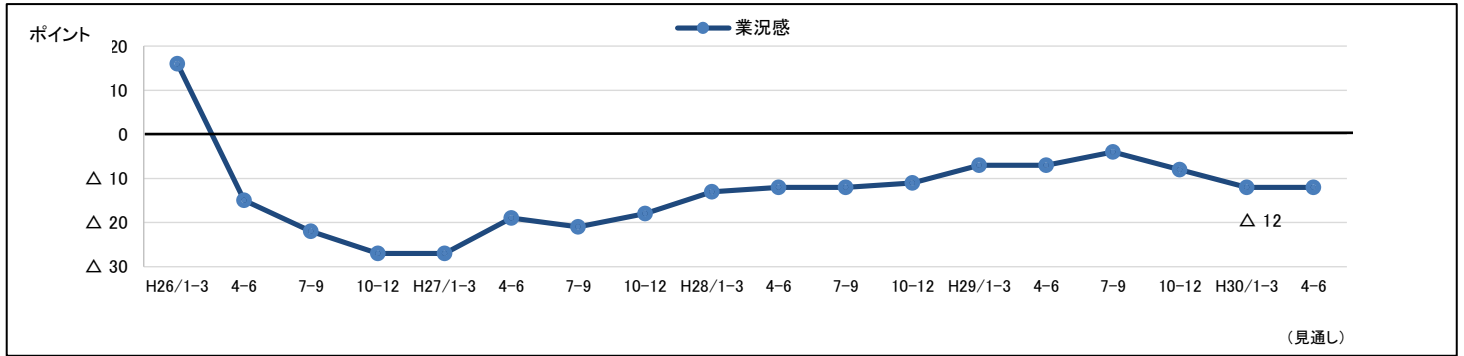
■企業の業況感

企業経営者意識調査（30年1-3月期）

今期の業況感BSIは、△12で前期から4ポイント下降した。

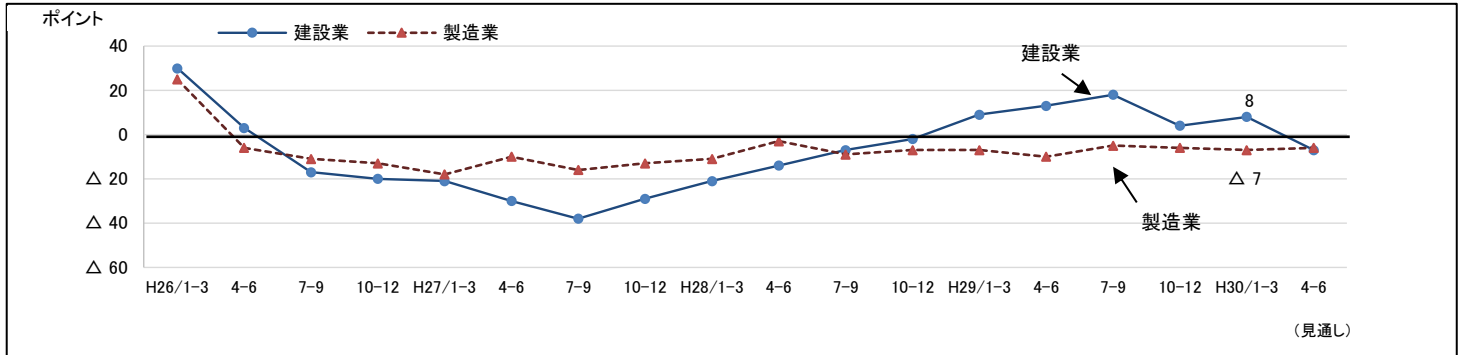
- ・業種別では、建設業、サービス業で上昇、製造業、卸売・小売業、運輸業で下降した。
- ・地域別では、道南、オホーツク、釧路・根室で上昇、道央、道北、十勝で下降した。

企業の業況感の推移



(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(資料:北海道)

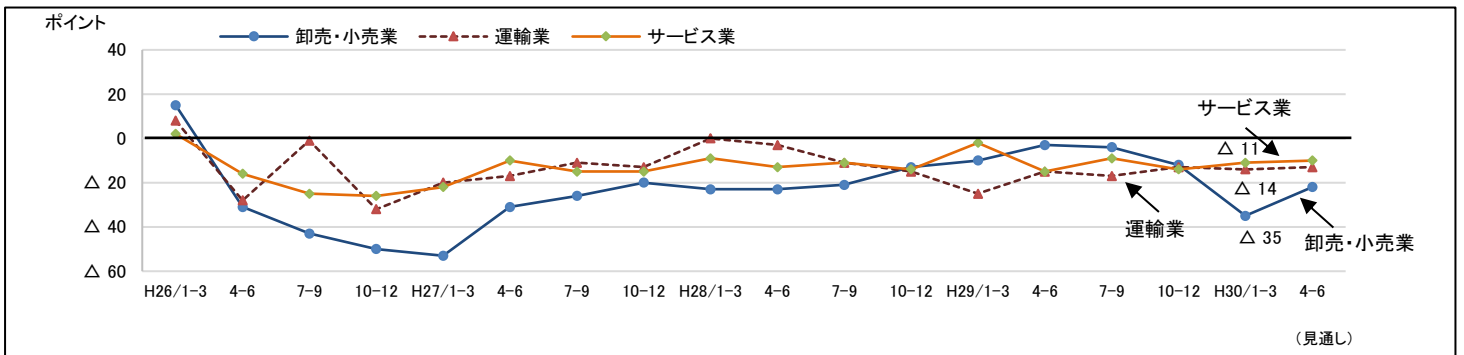
【建設業】 4ポイント上昇 (前期 + 4 → 今期 + 8)

- ・土木工事業や建築工事業がプラスに転換
- ・管工事業でマイナス幅が拡大、一般土木建築工事業や電気工事業でプラス幅が縮小

【製造業】 1ポイント下降 (前期 △ 6 → 今期 △ 7)

- ・製材業、木製品製造業や電子デバイス製造業がマイナスに転換
- ・セメント・同製品製造業、建設用・建築用金属製品製造業などでプラス幅が拡大

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(資料:北海道)

【卸売・小売業】 23ポイント下降 (前期 △ 12 → 今期 △ 35)

- ・各種食料品小売業がマイナスに転換
- ・農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業、自動車小売業などでマイナス幅が拡大

【運輸業】 1ポイント下降 (前期 △ 13 → 今期 △ 14)

- ・一般貨物自動車運送業がマイナスに転換、倉庫業のプラス幅が縮小
- ・沿海海運業がプラスに転換、一般貸切旅客自動車運送業のプラス幅が拡大、一般乗用旅客自動車運送業のマイナス幅が縮小

【サービス業】 3ポイント上昇 (前期 △ 14 → 今期 △ 11)

- ・旅館・ホテル業がプラスに転換、ソフトウェア業でプラス幅が拡大
- ・土木建築サービス業(測量業)がマイナスに転換、労働者派遣業でマイナス幅が拡大

[企業情報]

□企業のみなさまから伺いました

◆百貨店（道央地域）

【月後半の気温の上昇により、売上げが好調】

4月後半は気温が上がったことにより、春物の婦人衣料が好調となり、前年と比べて売上げはプラスとなった。

また、インバウンドについては、中国の祝日と重なったこともあり、化粧品や特選品を中心に売上げが好調となったほか、催事での集客、売上げ増が全体の売上げに貢献した。

◆スーパー（道央地域）

【行楽需要の伸び悩みなどで売上は前年並み】

4月は、穏やかな天候が続き、月末には気温も上昇したが、ゴールデンウィークの前半は連休の日数が短く、桜も満開前だったことから、花見などの行楽需要は思ったほど伸びなかった。

また、野菜類、肉や魚などの買い上げ点数が伸びなかったが、全体の売上は前年並みとなった。アスパラについて、ギフトが好調となっている。

来月は月末に運動会が各地で開催されることから、売上を伸ばしたい。

◆コンビニエンスストア（道央地域）

【売上は前年並み】

4月は、来店客数は前年より若干減少したものの、売上は前年並みとなった。例年と比べ、気温の高い日が多かったため、冷やし麺や飲料水などが好調だった。また、ゴールデンウィーク前半は天候に恵まれたので、花見客などの需要があった。

【地域の動き】

団体旅行ではなく、個人でレンタカーを使って道内を周遊する外国人観光客が増えていることから、地域の店舗に来店する機会が増えることを期待している。

◆運輸業（道央地域）

【業績は堅調に推移】

運輸業界は原油の高騰や人手不足などによりコストが増加しているが、集荷効率の向上や取引先の協力を得て適正運賃の收受などを進めた結果、前年に比べて利益が改善し、業績は堅調に推移した。

【働き方改革を積極的に導入】

人材の確保や雇用環境の改善を図るため、有期契約社員から正社員への登用、会社に保育所設置、労働時間短縮の推進や転勤のない地域限定職を新たに設けるなど、働き方改革にも積極的に取り組んでいる。

運輸業界も人手不足に加えて、高齢化が進んでいることから、特に若手ドライバーの確保は深刻な問題と考えている。

◆製造業・水産加工（道央地域）

【最近の売上状況】

昨年は、秋鮭が道東をはじめ記録的不漁であったが、日本海側では前年比プラスだったため、他の地域に比べると鮭の確保及び価格の優位性という点については、多少はよかったと考えている。

商品の数量については、前年比1割減だったが、売上は増加した。

【今後の取組】

北海道を代表する鮭の漁獲量が2年で半減している中、ブリの漁獲量が増加していることから、今後は、ブリの消費拡大にも取り組んでいきたい。

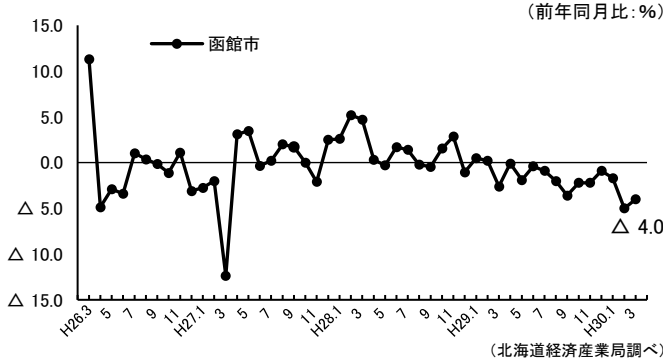
付加価値のある商品開発により、主力の地元客に美味しいと喜んでもらえる商品づくりとギフトや業務用など販売ルートの拡大に取り組むことで道外客のファンも増やしていきたい。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

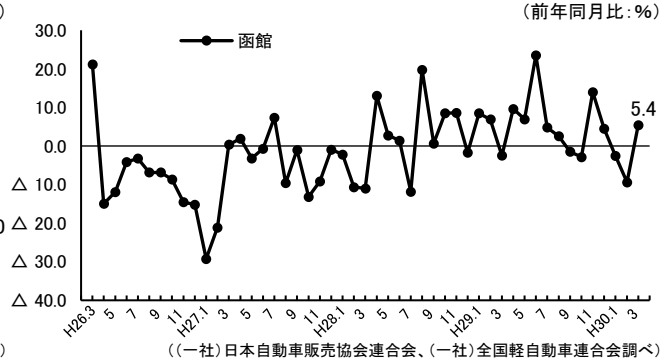
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

13か月連続で前年を下回った



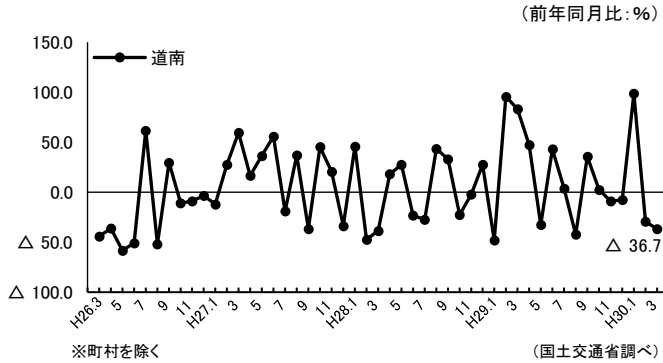
◆新車登録台数(乗用車)(3月)

3か月ぶりに前年を上回った



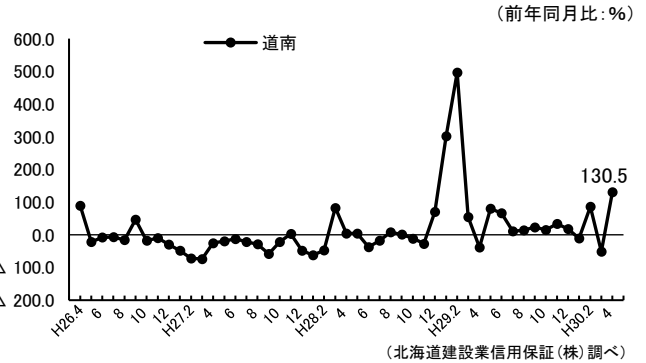
◆新設住宅着工戸数(3月)

2か月連続で前年を下回った



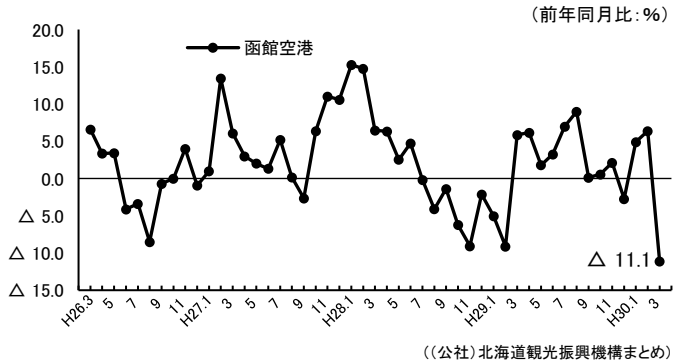
◆公共工事請負金額(4月)

2か月ぶりに前年を上回った



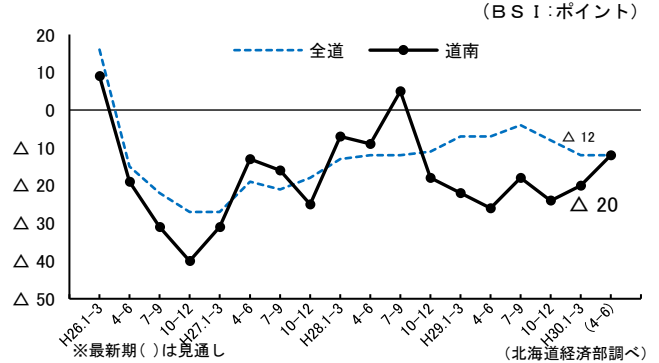
◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

3か月ぶりに前年を下回った



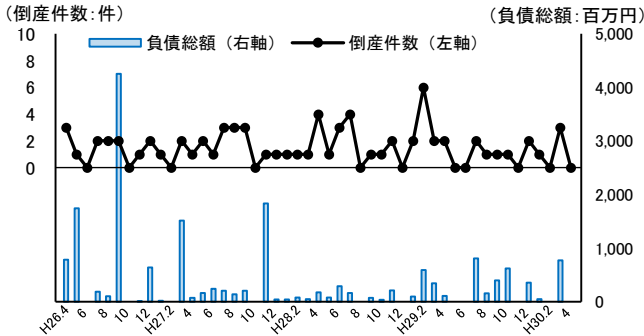
◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が縮小した



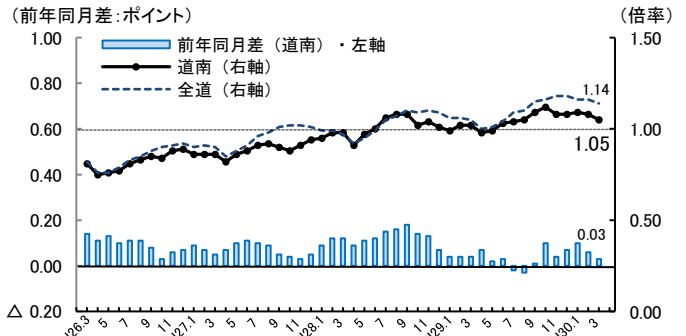
◆企業倒産件数・負債総額(4月)

倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

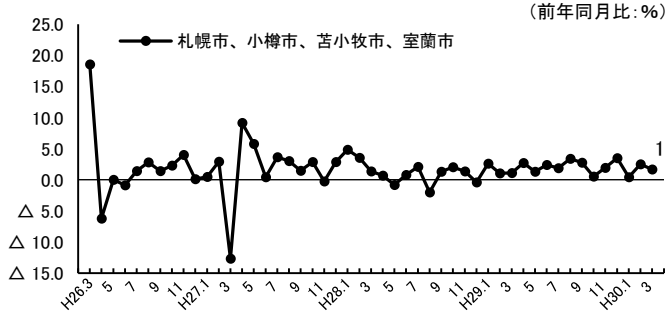
7か月連続で前年を上回った



■道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

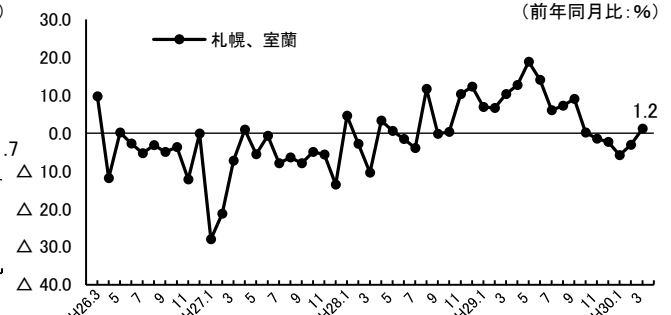
15か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(3月)

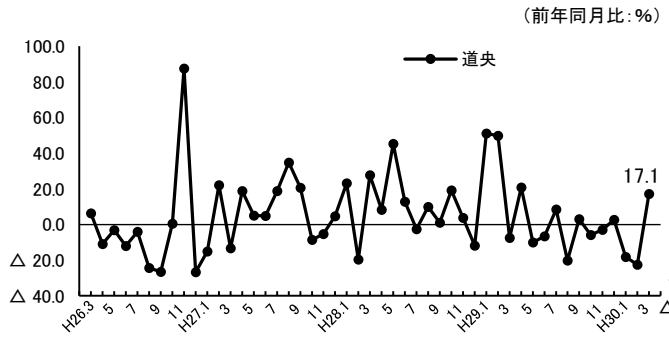
5か月ぶりに前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(3月)

3か月ぶりに前年を上回った

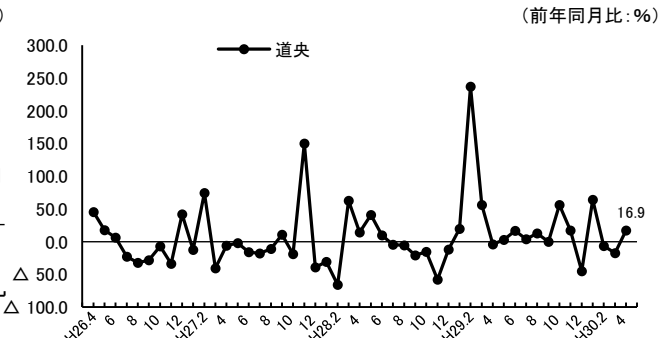


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(4月)

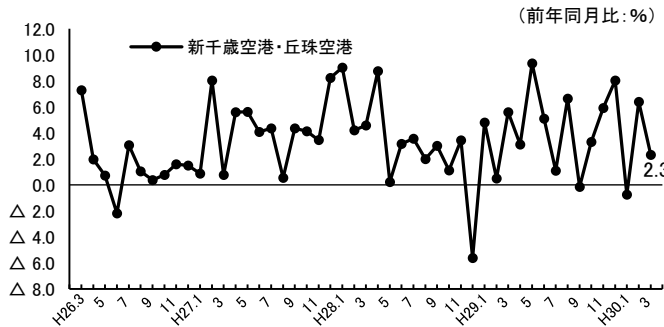
3か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

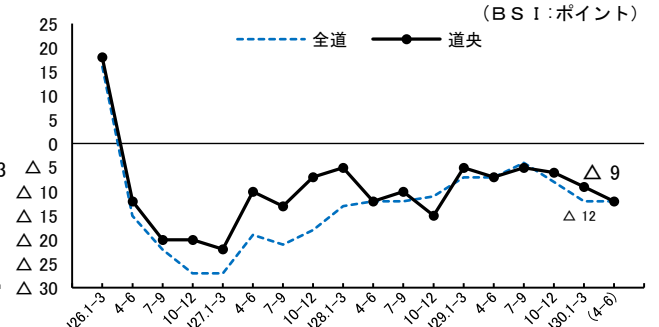
2か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が拡大した

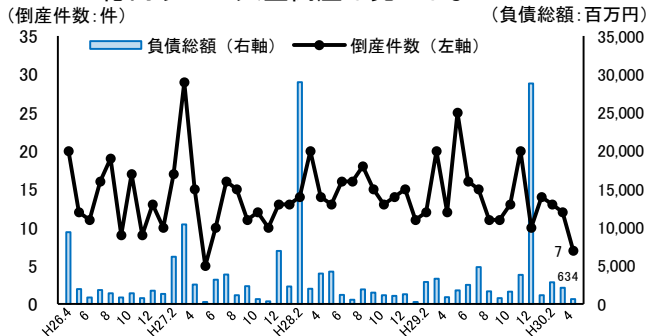


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(4月)

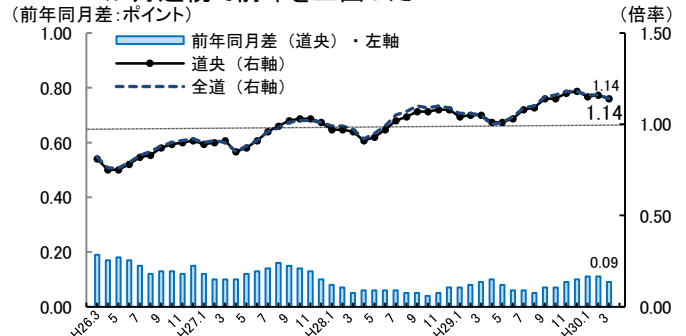
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率(常用)(3月)

97か月連続で前年を上回った

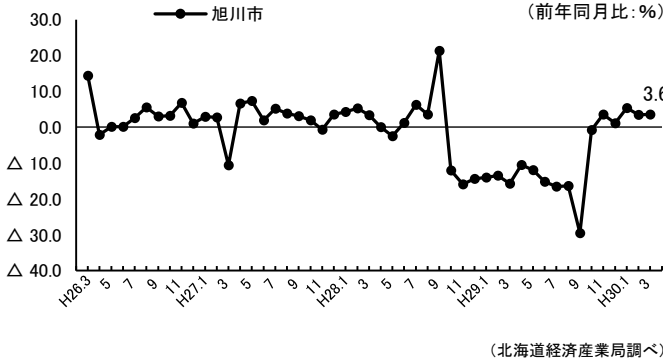


(北海道労働局調べ)

道北地域(留萌、上川、宗谷)

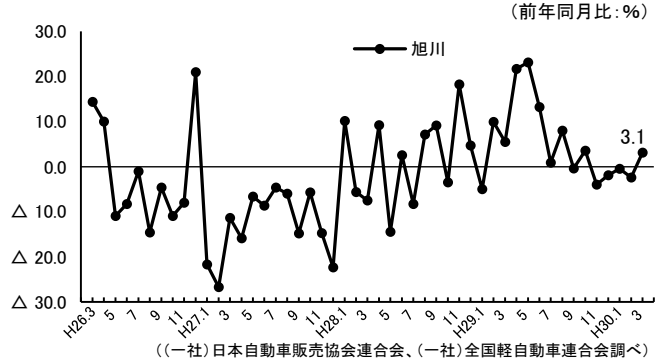
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

5か月連続で前年を上回った



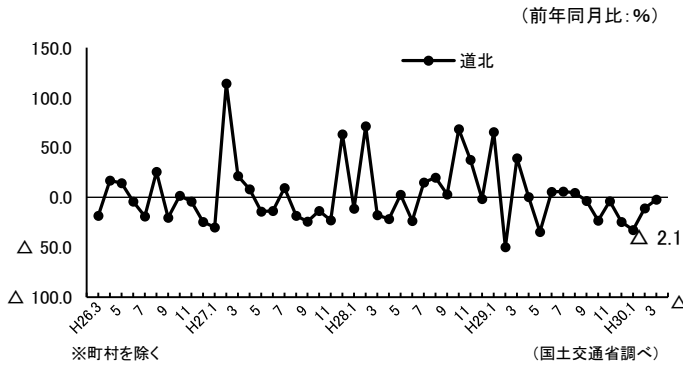
◆新車登録台数(乗用車)(3月)

5か月ぶりに前年を上回った



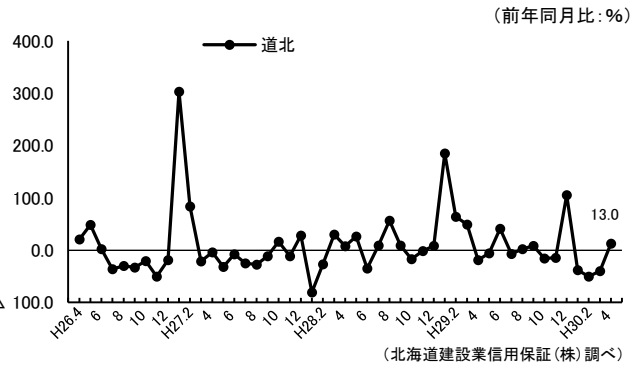
◆新設住宅着工戸数(3月)

7か月連続で前年を下回った



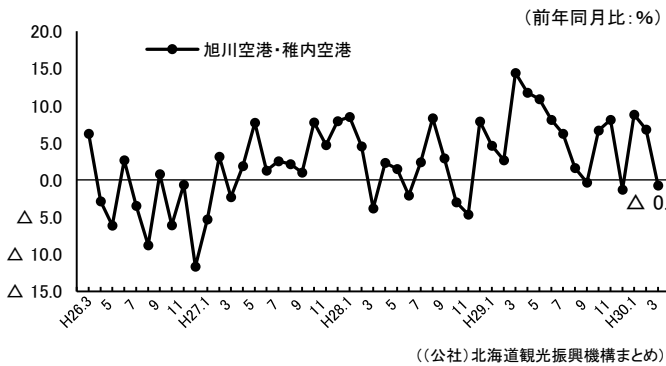
◆公共工事請負金額(4月)

4か月ぶりに前年を上回った



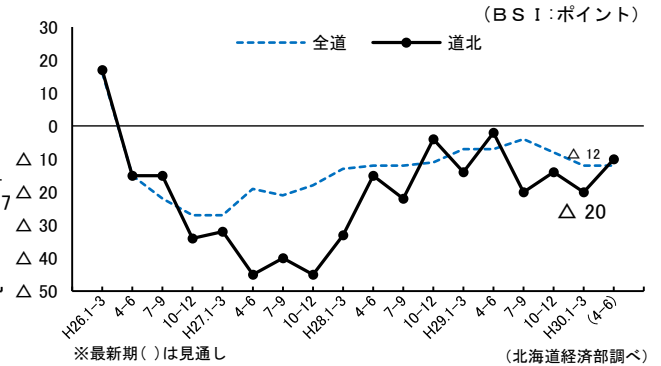
◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

3か月ぶりに前年を下回った



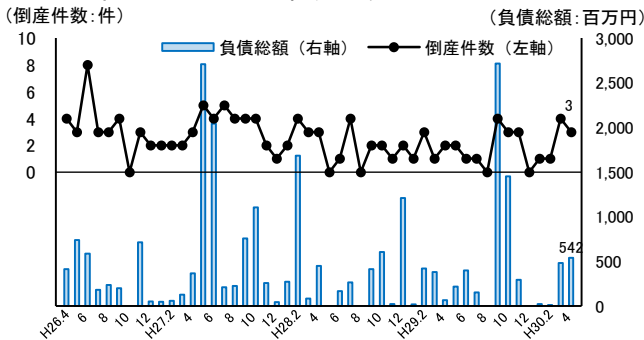
◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が拡大した



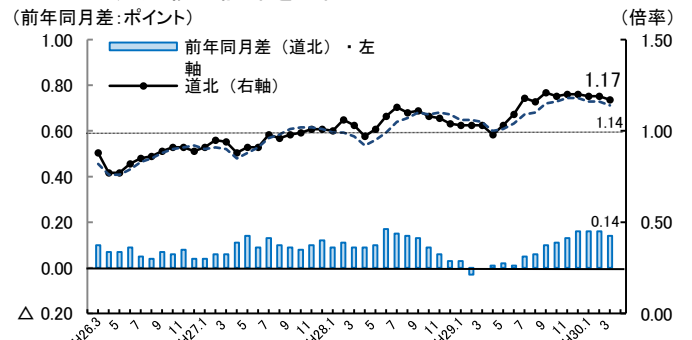
◆企業倒産件数・負債総額(4月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

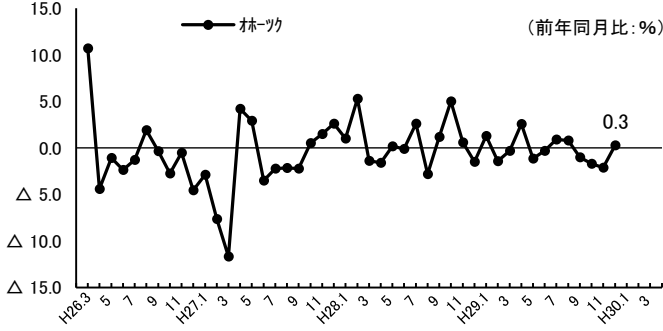
12か月連続で前年を上回った



オホーツク地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(12月)

4か月ぶりに前年を上回った

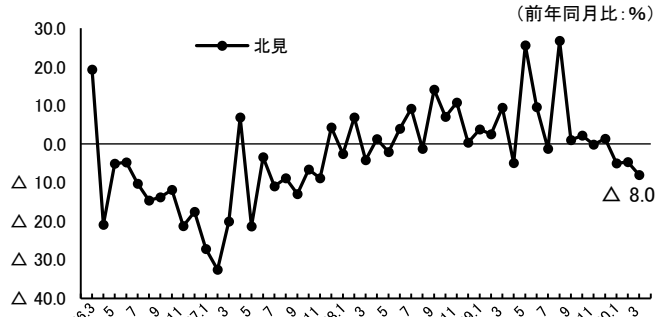


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(3月)

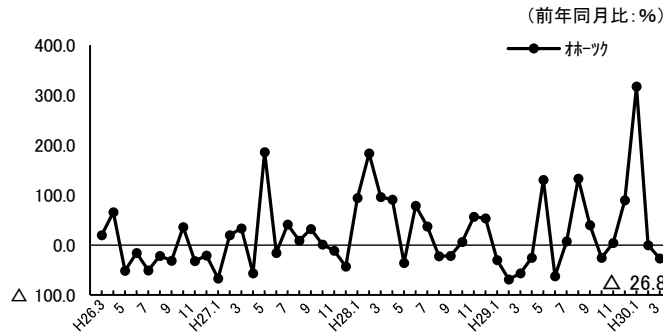
3か月連続で前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(3月)

5か月ぶりに前年を下回った

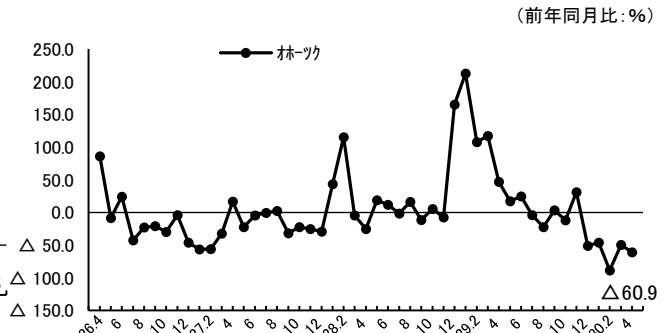


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(4月)

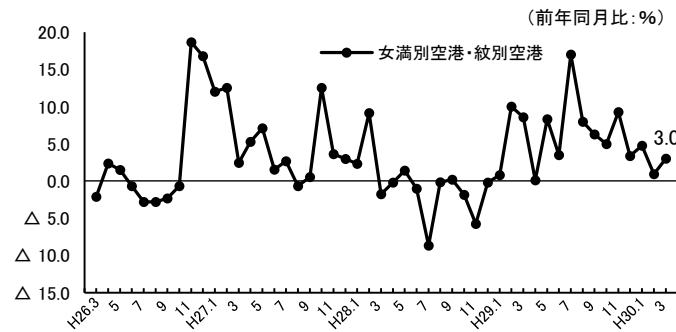
5か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

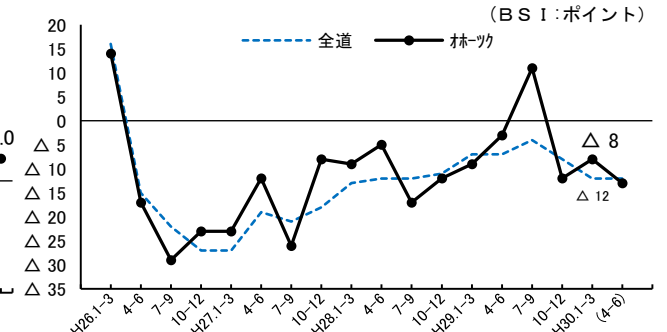
15か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が縮小した

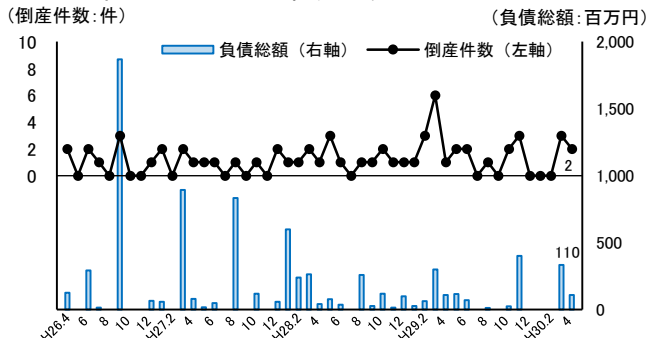


※最新()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(4月)

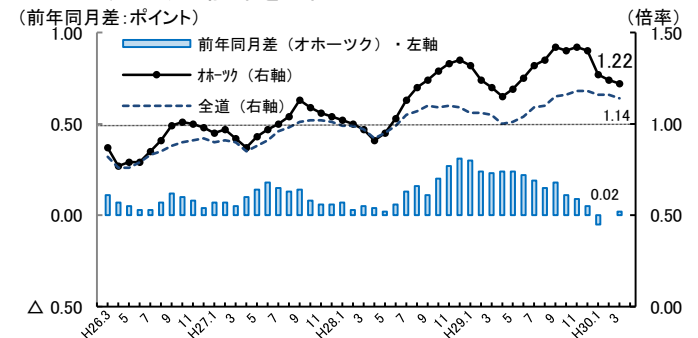
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 14 -

◆有効求人倍率(常用)(3月)

3か月ぶりに前年を上回った

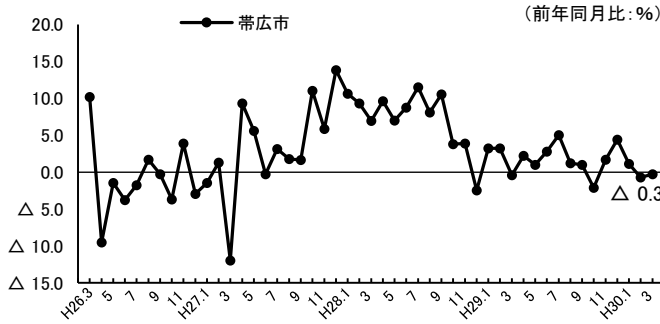


(北海道労働局調べ)

十勝地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

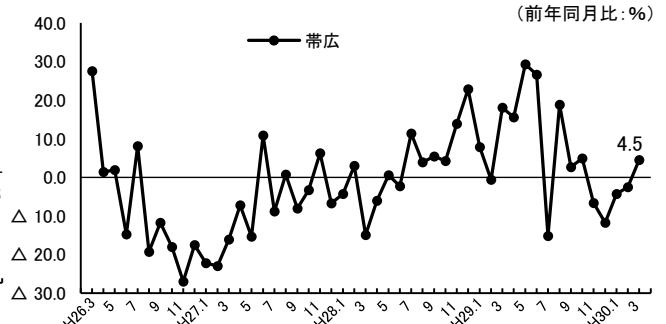
2か月連続で前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(3月)

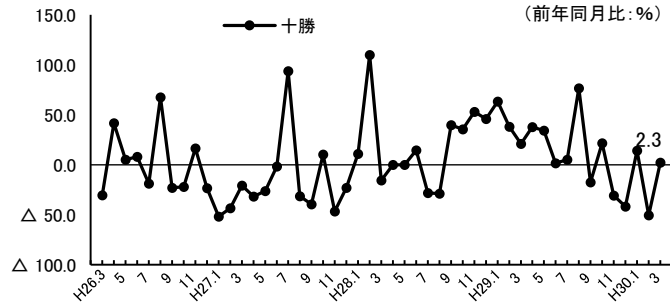
5か月ぶりに前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(3月)

2か月ぶりに前年を上回った

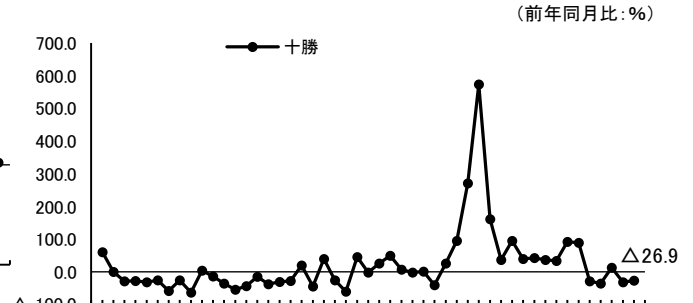


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(4月)

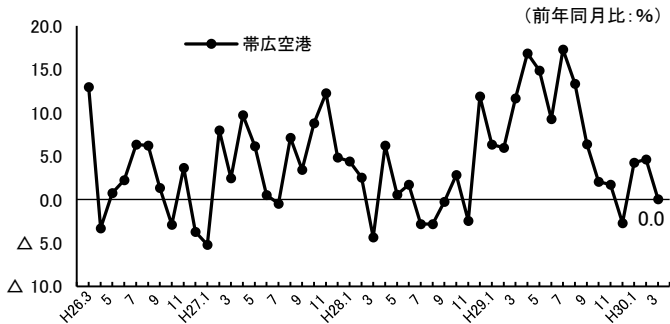
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

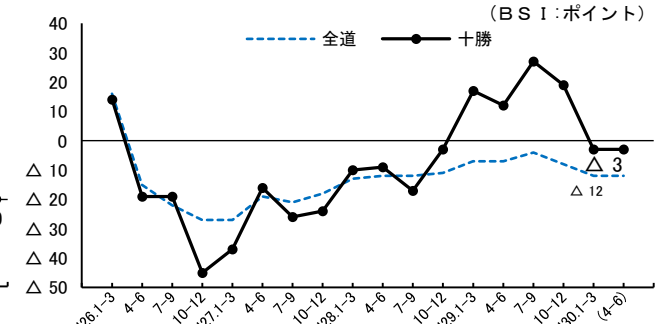
3か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)

今期はマイナスに転換した

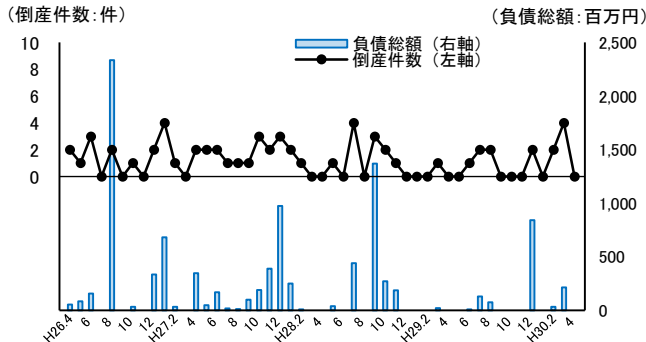


※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(4月)

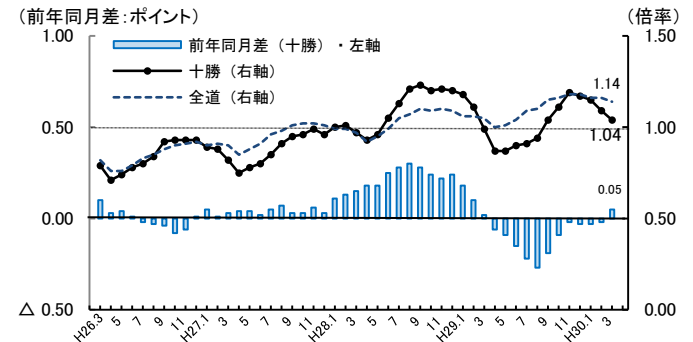
倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 15 -

◆有効求人倍率(常用)(3月)

12か月ぶりに前年を上回った

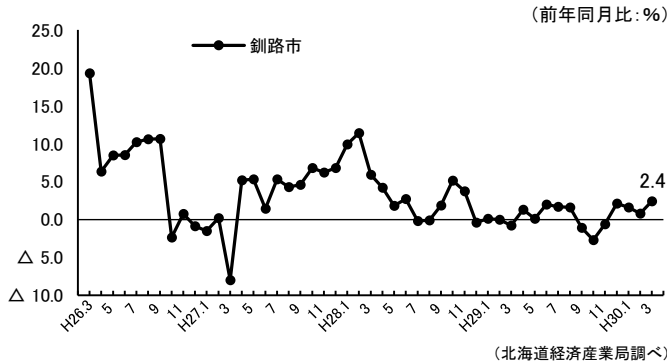


(北海道労働局調べ)

釧路・根室地域

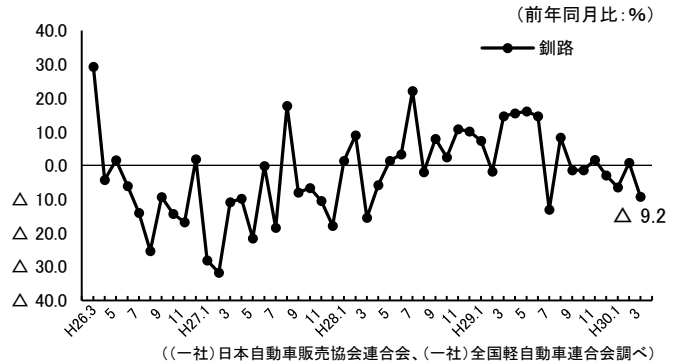
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

4か月連続で前年を上回った



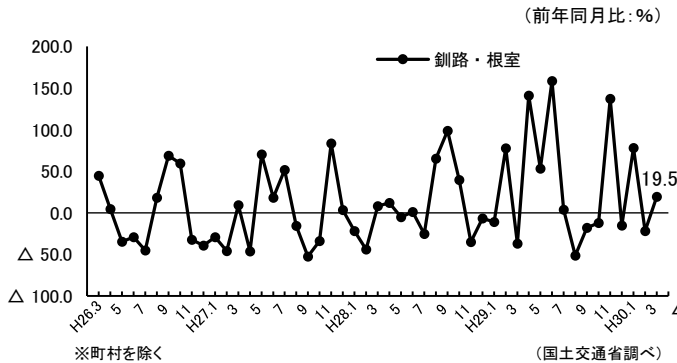
◆新車登録台数(乗用車)(3月)

2か月ぶりに前年を下回った



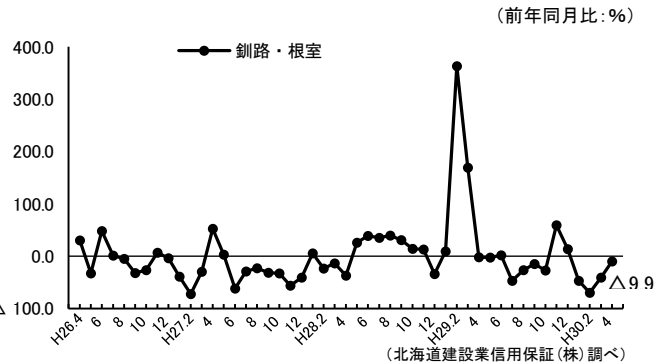
◆新設住宅着工戸数(3月)

2か月ぶりに前年を上回った



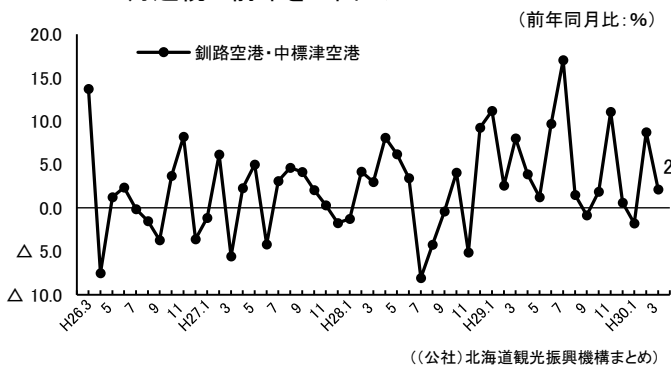
◆公共工事請負金額(4月)

4か月連続で前年を下回った



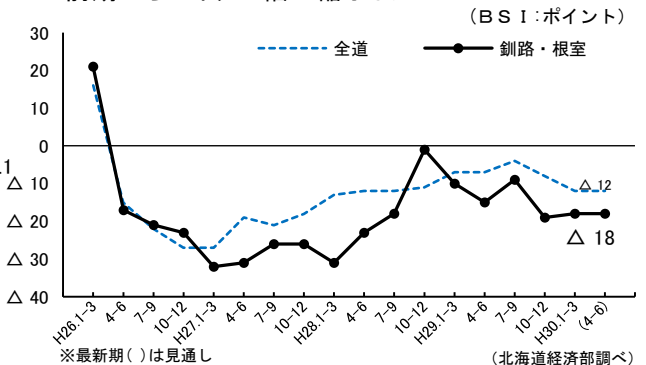
◆航空機利用による来道者数(着地別)(3月)

2か月連続で前年を上回った



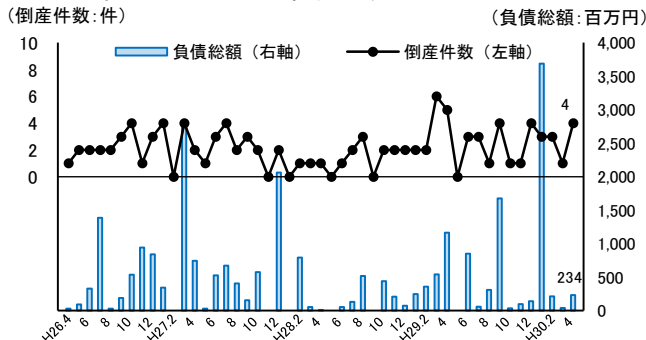
◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が縮小した



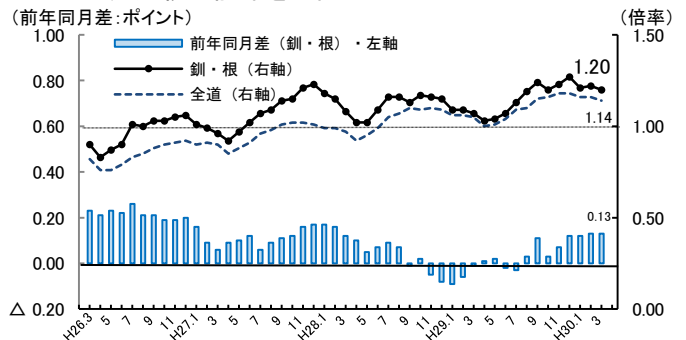
◆企業倒産件数・負債総額(4月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(3月)

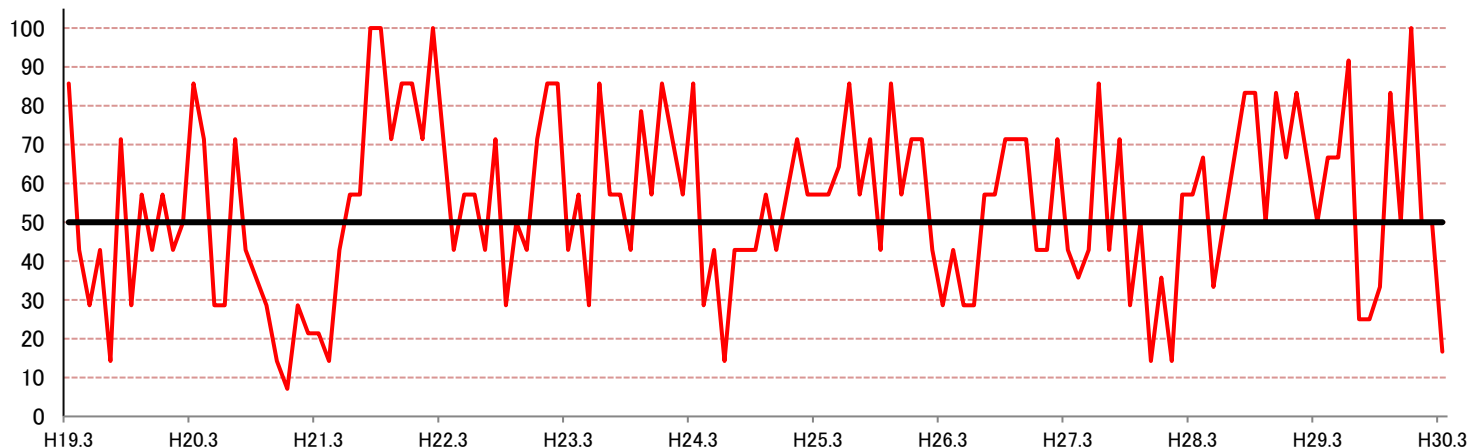
8か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		29/ 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/ 1月	2月	3月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	0	-	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+
	生産指数(生産財)	-	-	+	-	+	+	-	+	+	+	-	r-	p-
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	-	-
	新設住宅着工戸数	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	+	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	-	-	+	+	+	+	-	-	+	-	+	+
	企業業況判断D.I.	+	+	+	+	+	+	+	0	0	0	-	-	-
	拡張系列数	3	4.5	4	3	3	5	4	3.5	4.5	5.5	2	2	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	64.3	57.1	42.9	42.9	71.4	57.1	50.0	64.3	78.6	28.6	r28.6	p42.9
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	-	0	0	0	+	+	+	+	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	r-	p-
	出荷指数(生産財)	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	-	r-	p-
	百貨店販売額(既存店)	+	+	+	+	-	+	-	+	-	+	-	r-	p-
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+	r+	p-
	拡張系列数	3	4	5	5.5	1.5	1.5	2	5	3	6	3	3	1
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	50.0	66.7	83.3	91.7	25.0	25.0	33.3	83.3	50.0	100.0	50.0	r50.0	p16.7
	遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-
完全失業率(逆サイクル)		-	0	0	0	0	+	+	-	-	-	+	+	+
消費者物価指数(総合)		+	-	-	+	0	+	-	-	-	+	+	+	+
家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)		-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+
生産指数(資本財)		+	+	-	+	-	+	+	-	+	+	+	r+	p-
拡張系列数		3	2.5	0.5	3.5	2.5	5	4	2	2	3	4	3	3
採用系列数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数		60.0	50.0	10.0	70.0	50.0	100.0	80.0	40.0	40.0	60.0	80.0	r60.0	p75.0

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成30年5月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>